



「劔岳 点の記」への出演依頼があつて、日本山岳会の小島烏水（こじまうすい）の役ですということでした。

その方については全然知りませんでした。木村監督が「小島烏水を演じている仲村を撮りたいというよりも、仲村自身を撮りたいんだ」と言った話を聞き、またすでに撮った山の映像を見せられて「ああ、やると言つてよかった」と思いました。

なぜあの時代に、小島烏水らは、こんな過酷な山に登ろうと思ったのか。そして木村監督がなぜ、僕にこの役をやらせたいと思ったのか。映画が完成したときにわかるのではないかなと期待を持っています。

撮影現場まで行くのは本当にキツかったけれども、香川君とも話したのですが、撮影した映像があまりにもきれいなんで、これを見た人は合成だと思つたのではないかと。でも本当に苦労して登つて撮ることによつて、CG合成ではできない心の目の色みたいなものが違つているはずだ、という話をしていました。

スタッフや役者の方々は、自分たちが非常に重要な仕事をして、すばらしい成果を上げつつあるんだという自信と誇りがありました。彼らの顔は研ぎ澄まされていました。

仲村トオルさんプロフィール

1985年映画デビュー。日本アカデミー賞をはじめとする数々の新人賞を受賞。国内外を問わず、数多くの映画、テレビドラマに出演。中国映画『パープル・バタフライ』（共演：チャン・ツイイー）は第56回カンヌ国際映画祭 コンペティション部門正式出品作品。2004年より舞台にも出演。ドラマ『華麗なる一族』、『刑事殺し』、『長い長い殺人』に出演。2008年は、映画『接吻』が公開。映画『少林少女』・『K-20 怪人二十面相・伝』・『劔岳 点の記』などが控える。